

第2学年 生活科学習指導案

日 時 令和4年5月11日（水）

第5校時 13：20～14：05

対 象 第2学年2組 26名

研究主題

自ら課題を見出し、課題解決に向けて「やり通すこと」のできる児童の育成
～「心のふるさとづくり」を生かした、カリキュラムマネジメントの充実～

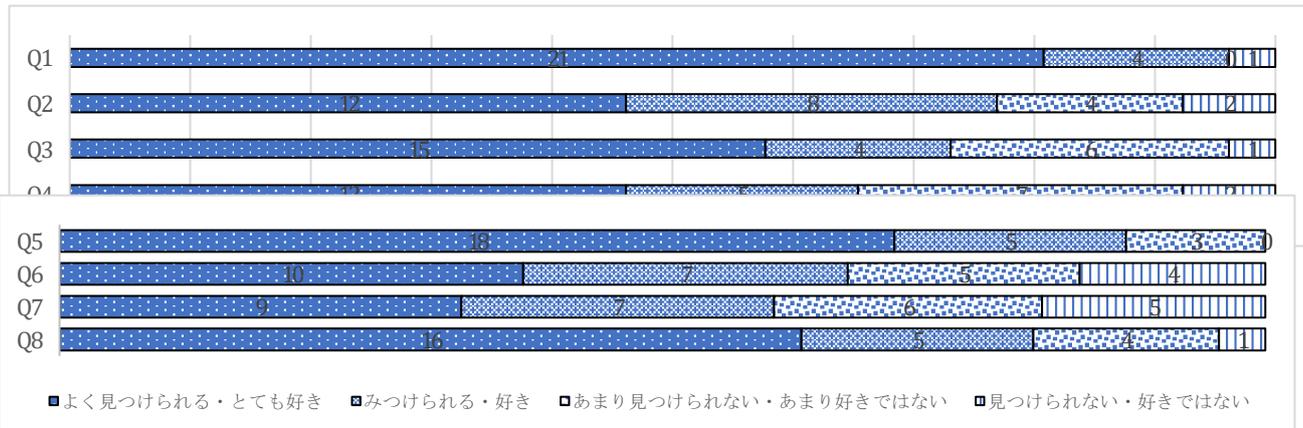
植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみを持ち、大切にしようとする事ができる。

3 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①自分の育てている植物が成長していることに気付いている。 ②異なる植物にも、同じような特徴や性質があることに気付いている。 ③適切な方法で、植物の世話をしている。 ④自分が世話を工夫したことで、植物が大きく成長したことに気付いている。	①自分の育てたい植物を、栽培する時期や場所などの条件で分類しながら、これから育てる野菜を決めている。 ②1年生での経験や身近な人に来たことを基に、植物の成長の様子を思い描きながら世話の仕方を決めている。 ③友達と自分の世話の仕方を比べながら、自分の植物に適した世話の仕方を決めている。	①育てている野菜の状況に応じて、詳しい人に世話の仕方を聞いたり、本で調べたりして、世話の仕方を変えようとしている。 ②植物を育てることのよさを実感し、これからも継続的に生き物に関わろうとしている。

4 児童の実態

(1) 実態調査



Q1 生活科の学習は好きですか Q2 自分で勉強することを自分で見つけられますか。Q3 植物や生き物を育てたり、観察したりすることが好きですか。

Q4 本などを使って、しらべる学習は好きですか。Q5 友達と力を合わせて学習することは好きですか。

Q6 「なぜ?」「どうして?」と思ったことを自分で調べたりまとめたりすることは好きですか。Q7 自分の考えや調べたことを発表することは好きですか。

Q8 友達の発表を見たり聞いたりすることは好きですか。



(2) 考察

すべての解答において、好意的且つ、意欲的な回答をした児童が多くいた。児童の発達段階として、「新たに学ぶことへの期待が高い」と感じる場面が多くある。本時では、そういった実態をさらにいかし、「学ぶことへの意欲」を高められるような工夫をしていく。また、Q9での質問では、周りの人と答えた児童が3割ほどいた。年間を通して、地域人材や地域資源を活用することで、「地域に愛着をもった」児童を育成することができると思う。

5 研究主題に迫るための手立て

(1) 「心のふるさとづくり」につなげる地域人材、地域資源の活用

小学校学習指導要領解説生活科編 P.19 の学年の目標の趣旨に「～地域に愛着をもち～」とある。低学年分科会では、「地域に愛着をもてる児童」の育成を目指していく。そのために、年間指導計画に基づき、地域人材を積極的に活用していく。本単元では、児童の「よりよく育てるためにどうすればよいか」「誰に聞くと1年生で育てた以上に育てられるかな」という問いを解決するために、学校の周りで野菜づくりを行っていた人たちから「野菜の育て方」について質問する機会を設ける。問いを解決するために地域人材を活用することが効果的であることに気付くことで、「心のふるさとづくり」につなげていく。

(2) 「心のふるさとづくり」を育む、学習過程の工夫

2年生では、年間を通して地域に親しみをもつ素地を育めるような年間指導計画で学習を進めていく。その中で、今回の学習では、1年生の時のチューリップなどの栽培経験を想起しながら学習を進めていく学習過程とした。「学んだことを振り返りながら学習を進めていく」「見通しをもって取り組む」という意識を高める。この経験を繰り返すことで、「学び方」の定着につながると考えた。

(3) 「やり通す」ことができるようになるための学習形態の工夫、ICTの活用

- ・育てる野菜について、興味・関心に応じて決められるようにする。同じ野菜を育てるグループで「野菜の世話の仕方」「よりよい育て方」を共有できるようにする。また、単元中盤で違う野菜を育てる人と少人数グループをつくり、情報交換しながら自分の野菜との相違点に気付けるようにする。
- ・観察して気付いたことを大切にするとともに、タブレットを活用して野菜の発育の変化を記録できるようにする。タブレットを活用することで、成長の様子を繰り返し確認することができ、野菜の特徴や育つ場所、世話の仕方を含めた気付きにつなげることができる。

6 小単元の指導計画（全10時間）

時	学習活動	◇支援、手だて 【評価】
---	------	--------------

1 (本時) 3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分が育てたい野菜を決めて、種をまこう。</div> <p>○自分たちが育てる野菜を、みんなで話し合っ決めて。 ○育てたい野菜の種の植え方や世話の仕方などについて、いろいろな方法で調べる。 ○自分が育てる野菜の種をまいたり、植えたりする。 【心のふるさとづくり】区民農園を利用している地域の方々</p>	<p>◇1年生の時の経験をもとにしながら、育てる野菜について話し合えるようにする。 ◇児童の求めに応じ、地域の栽培に詳しい人の指導を受けられるようにする。 【思①】【知①】【主①】</p>
4 5 6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">よりよい育て方を調べ、野菜の世話をしよう。</div> <p>○野菜の世話をする計画を立てる。 ○野菜の世話をする。 【心のふるさとづくり】区民農園を利用している地域の方々 ○世話をして気付いたことを、記録カードに表す。</p>	<p>◇成長に応じて、草取り、施肥、支柱立て、芽かき、網かけなどを児童と一緒にやるようにする。 ◇日常の世話のポイントを成長と合わせて、野菜名人に問い合わせられるようにしておく。 【知②③】【思②】</p>
7 8	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分が育ててきた野菜を収穫しよう。</div> <p>○採り頃の野菜を見分け、収穫する。 ○これまでの世話や野菜の成長を振り返り、自分なりの表現方法で友達に伝える。 ○収穫した野菜を調理する方法を考え、家に持ち帰って食べる。</p>	<p>◇未熟な野菜と熟した野菜を見分けながら収穫する。 【知④】【思③】</p>
9 10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">育ててきた野菜のことをまとめよう。</div> <p>○自分やみんなで育てている野菜の変化や成長、自分のしている世話について話し合う。 ○自分の育てている野菜の様子や、自分のしている世話のことを、作品にまとめる。 ○まとめた作品（冊子形式）を使って、野菜のことを伝える。</p>	<p>◇苗植えや日々の世話、収穫のときのことは記録カードや写真などを手掛かりとして、その時の思いや感想を表現できるようにする。 ◇世話ができるようになった自分の成長に気付いている児童を取り上げ、称賛し、全体に広げる。【主②】</p>

7 本時の学習（1時間目/全10時間）

（1）本時の目標

○野菜を育てることへの意欲を高め、学習の見通しを持つことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

（2）本時の展開

学習内容	□指導 ・支援 ◆評価（方法）
1 これまでの学習を振り返る。	□1年生の時に育てた植物について振り返り、既習事項を確かめる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を見せることで、振り返りをしやすくする。
2 野菜の種と苗を観察する。	<ul style="list-style-type: none"> □育った野菜と合う、種と苗を予想しながら、観察するように声を掛ける。
	<ul style="list-style-type: none"> □少人数のグループで話し合う活動を取り入れることで、対話を促す。
3 単元の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> □上二小の花壇で、自分達で野菜を育てていく事を伝え、見通しをもたせる。
4 野菜をどう育てていくとよいかを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> □「どのようにすると美味しい野菜を育てることができるのだろう」という発問で、グループごとに話し合う。
	<ul style="list-style-type: none"> □児童が考えたことを付箋に書き、似ている考え、違う考えを分類する。
5 グループで話し合ったことを共有する。	<ul style="list-style-type: none"> □異なるグループの児童たちと情報交換することで、野菜を育てるために必要なことに気付けるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> □児童の発言内容を、教師がホワイトボードに書き、野菜を育てる上で大切なことがわかるよう、意図的に掲示する。
6 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元名を児童が考えて良いことを伝える。 ・これから頑張りたいことを振り返る。意欲的に取り組もうとしている児童を称賛する。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆野菜を育てることへの意欲を高め、学習の見通しをもっている。
	<p>【振り返りカード】</p>
7 次時の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の振り返りをいくつか紹介し、次時への期待をもたせる。

【成果と課題】

成果

- 地域人材を活用した「心のふるさと」づくりを意図した学習過程を取り入れることで、今年度の方向性を示すことができた。
- 「どのようにすると美味しい野菜を育てることができるか」のような発問を工夫することで児童の思いや願いを喚起することができた。
- 「疑問をもつ」→「やってみる」を繰り返すことで探究的な学びのサイクルを児童が意識できるようになった。

課題

- 児童がより豊かな表現力を身に付けることができるために国語科の「かんさつ発見カードを書こう」や読書科と、関連を図りながら教科横断的に学習を進めること。
- 児童の思いや気づきが今後の学習を進める上で重要なつづきであることが多かった。その際、学習規律とどのようにバランスをとっていくのかを明確にすること。
- 学習過程を進めていく中で、長期にわたり野菜を育ててきた。意欲を継続することが難しかった。どのようにすると児童の意欲を継続することができるかを明確にすること。

※指導演上で、実践後に変更した箇所は、青文字で表示になっています。